

パブリックコメント意見募集の結果公表

第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）を次のとおり修正して策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）		
募 集 期 間	令和6年11月27日（水）～ 令和6年12月26日（木）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	3件（ 2人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	2件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	0件
	その他	意見として伺ったもの	1件
意 見 の 受 け 取 り	持参		1人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		1人

【意見等の内容】

No.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
1	<p>【地域公共交通の確保】</p> <p>人口減少がさらに進行する中、地域公共交通の利用者も運転手も減少していくことは避けられないため、これまでの意識を変え、対策を強化する必要があると考える。</p> <p>このため、「地域公共交通の確保」の取組項目の記載については「高齢化の進展に対応した地域の移動手段を確保するため」から「今後の人口減少と高齢化の進展に対応した地域の移動手段の存続を維持し、確保するため」へと表現を改める必要があるのではないか。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>国は、人口減少・高齢化が進み、将来的に生活に必要な施設や公共交通の維持が困難になることが予想される中、都市全体を見渡し住宅をはじめ医療・福祉・商業等施設の誘導を図り、これと連携した地域公共交通ネットワークの再編を行う取り組みの考え方を「コンパクト・プラス・ネットワーク」と呼び、こうした考え方に基づく立地適正化計画の策定を自治体に促しています。</p> <p>本戦略原案においても「立地適正化計画の策定」を位置付けていることから、原案の「イ) 地域公共交通の確保」と「ウ) 都市機能の確保」の取組項目を統合し、記載内容を修正します。</p>
2	<p>【都市機能の確保】</p> <p>取り組み内容に人口減少時代の「街づくり×交通政策」の最も有効な施策である「コンパクト・プラス・ネットワークの策定」を追記する必要があるのではないか。</p>	1件	
3	<p>【帯広少年院跡地の利活用】</p> <p>少年院跡地に食や農の研究・実験施設があったら良いのではないか。</p> <p>プロジェクトを立ち上げ全国の方々から様々なアイデアを募集し、「豊かな人生をはぐくむ未来館」となるような施設の設置を考えてほしい。</p> <p>例えば、緑ヶ丘公園エリア内にある動物園、美術館、児童会館等の施設との連携のほか、帯広の森エリアのスポーツ施設等との連携も考えられるのではないか。</p>	1件	<p>【その他】</p> <p>帯広少年院跡地の利活用は、緑ヶ丘公園の魅力向上と連動してエリアの魅力や価値の向上につなげることが重要であると考えています。</p> <p>民間利用の可能性のほか、公民連携による民間サービスの導入の可能性があるので、児童会館と百年記念館の将来的な建て替えの可能性も踏まえ、今後、議会での議論や関係機関との協議を行いながら、民間や公共利用、公民連携による利活用について検討を進めていくこととしています。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり